

別府大分毎日マラソンリモート大会 別大チャレンジ2021 きょう午後8時 エントリー開始

別府大分毎日マラソン大会のリモートマラソン大会「別大チャレンジ2021」が2021年1月30日から約1カ月間、開催される。新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期となった第70回大会の代替イベントで、13日から参加者の募集が始まる。

別大チャレンジの意義、楽しみ方について、女子マラソンの元五輪日本代表であり、スポーツジャーナリストや解説者などとして幅広く活躍する増田明美さんに話をもらった。

【聞き手・出来裕寿】

増田明美さん流「走り方」指南

同じTシャツで仲間と一体感

増田 別大は次の第70回大会が22年2月に延期になりました。今回の別大チャレンジは、次の第70回につながる大会にしてほしいです。毎年参加しているランナーは「今年も別大を走れるぞ」という気持ちになります。また、3時間30分という参加資格タイム(前回大会)がある中で、そのレベルに届かずなかなか参加できないランナーにとっては、今年のリモート大会は、別大を目指すいいきっかけになるでしょう。別大チャレンジでは、大会開催前に参加賞のTシャツと大会公式のナンバーカード(アスリートビブス)をお届けし、参加者はTシャツを着て、ナンバーカードをつけて走ってもらいたいと考えています。それはすごくいい考えですね。例えば大会期間中の週末、同じTシャツを着た「仲間」を見つけたらうれしいですよ。自分一人だけでは頑張れない時も、仲間と一緒に走れるってあるんです。単にバラバラ勝手に走るだけでなく、つながる機会ができる、一体感が感じられるリモート大会になりそうです。

場所と時間 合わせてつながれ

リモートマラソンのいいところは、場所、時間がそれぞれで楽しめること。私が考える別大チャレンジの一番の推しは「場所」。次大



Key Word

別府大分毎日マラソン

1952年1月に第1回大会を開催。「びわ湖毎日」、「福岡国際」と共に、日本三大クラシックレースと称される。谷口浩美や藤下広一、足立知弥(当時いずれも旭化成)らが初マラソン初優勝を飾るなど、「新人の登竜門」との評価も高く、数多くの名勝負を生み出してきた。2011年の第60回大会からは参加資格をマラソン3時間30分以内に緩和する

リモートマラソン

距離計測用のスマートフォンアプリを活用し、大会期間中なら好きな場所で、好きな時間に参加できる新しい形のマラソン大会。別大チャレンジではランニングネットサイ

とともに、女子選手にも門戸を開いた。大勢の市民ランナーが参加するようになり、第69回大会には過去最多となる4051人がエントリー。参加資格があり、エリートアスリートと同じ舞台で競い合えることから「市民マラソンの最高峰」とも評される。新型コロナウイルスのため、21年2月7日に実施予定だった第70回大会は22年2月6日に延期された。

ト「RUNNET」へ登録してもらい、専用アプリ「TATTA」を利用する。11月1日時点で、50以上の大会が実施、計画されている。

会に向け、別大の本物のコースの歩道を走ってほしい。期間も1カ月あるわけなので、都合のいい日に、仲間と一緒に走る。大会のナンバーカードをつけていれば、きっと地元の人も応援してくれます。

2番目のポイントは「時間」。別大のコースに行けない人は、本来、第70回大会だった21年2月7日に、リモートを通して、同じ時間に走る。できればスタートも正午に。これも一体感につながります。

場所も時間も合わせられない人は、それぞれの地域のランニングコースで一緒に走る仲間をソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)などで募ってみてはどうでしょう。大会Tシャツで一緒に走り「22年2月の別大で会いましょう」という目標も持てます。別大チャレンジを、目標設定に、仲間づくりに、上手に活用してほしいです。

現地なら温泉も食事の魅力

別大は市民ランナーにとってスポーツツーリズムのシンボルの存在だと思います。大分県は「おんせん県」で、プロランナーの川内優輝さんも「マラソンと温泉はセットだ」とよく言われます(笑)。その上、駅や空港からのアクセスもよく、別府湾を望むコースもいい。実際に別大の地にきたランナーは心豊かな時間を過ごせます。

大分は走り終わったあとで楽しめることもいっぱいありますし、食べ物もおいしい。別大チャレンジに22年への予行練習みたいな感じで参加してほしいです。

始めよう 自分磨きの一步

本番へ「今日の自己新」重ねて

—今年新型コロナウイルスの感染拡大で、市民マラソンは中止や延期が相次ぎ、ランナーたちにとっては厳しい年になりました。

◆大会がないからこそ、自分の課題を克服するいいチャンス。持久力がない人はゆっくり長く走ることでもスタミナをつけられますし、スピードがない人は、坂道ダッシュや筋力トレーニングを。コロナが収まって大会ができるようになった時に、「大会を走りたかった」という気持ちを爆発させたいと思います。

オリンピック、パラリンピックを目指す選手たちもコロナ禍で大会が半年ぐらいたった時期がありましたが、競技会が再開されると、いろいろな大会で大会新や自己ベストを更新しています。練習だけの日々でも、選手は毎日「今日の自己ベスト」を積み重ねてきました。心の持久力も鍛えられたと思います。

市民ランナーのみならず、次に本大会を走ったときに枯渇感を爆発させて、自己ベストを更新してほしいです。この別大チャレンジから、自分を磨く時間をスタートさせてください。

申し込みから参加までの流れ

①RUNNETより「別大チャレンジ2021」にエントリー



②GPSトレーニングアプリ「TATTA」をダウンロードし、RUNNET IDとパスワードで連携させる

③「TATTA」を起動した状態で、期間内に累計で42.195%以上を走る(先走)



情報盛りだくさん 大会公式HP



実施要項

開催時期..... 2021年1月30日(土)午前0時 ~2月28日(日)午後11時59分

実施方式..... 大会期間中に累計42.195%以上を走破する指定距離走破方式。期間中、参加者は自分が好きな場所で好きな時間に、何回に分けても42.195%以上を走り切れば「先走」とします。 ※タイムによる順位付けはしません。

参加資格..... ・日本国内在住(外国籍の方を含む)で01年1月30日以前に生まれた方 ・スマートフォンをお持ちの方で、GPSトレーニングアプリ「TATTA(タッタ)」をダウンロードできる環境下にあること ・新型コロナウイルスへの対応状況を踏まえ、それぞれの地域で安全・安心に走ることが出来る環境であること

募集定員..... 5000人(先着順)

募集期間..... 11月13日(金)午後8時 ~12月15日(火)午後11時59分 ※先着順(定員5000人に達した時点で締め切り)

申し込み方法..... エントリーサイト「RUNNET」からインターネットによる申し込み(https://runnet.jp) ※パソコンやスマートフォンから登録できます。 RUNNETの会員登録が必要です。

参加料..... ・一般エントリー(4500人) 3000円(別途手数料200円) ・宿泊パックエントリー(500人) 1万3000円(同115円) ※宿泊予約サイトでの宿泊受け付けは、11月20日(金)正午からです。

参加方法

事前に「TATTA」をインストールしてRUNNETとの連携を行い、開催期間中に42.195%を「先走」してください(1度の計測で完走する必要はありませんが、最低1%以上の走行が必要です)。また、参加にあたっては「申込規約」(ホームページ参照)をよくお読みのうえ、ご参加ください。 ※ランキングの発表や表彰は行いません。

先走特典

1. 開催期間中に「先走」された方の中から抽選で50人に「第70回別府大分毎日マラソン大会」(22年2月6日予定)の優先出場権を差します ※ただし、来秋の申込時に第70回大会の参加資格(記録)が必要です。第70回大会の参加資格(記録)は未定で、21年9月末までには発表します。ちなみに、第69回大会の参加資格は、過去2年以内に日本陸連公認コースでのフルマラソンで3時間30分以内の記録でした。 ※エントリーの際にはエントリー料が必要です。 ※当選通知発送は21年3月中を予定しています。 2. 先走者全員に後日、「PDPF大会公式先走記録証」と「フィニッシャームービー」を提供

記念品

1. 参加者全員に大会公式Tシャツ、大会公式ナンバーカード(申し込み時の番号入り) 2. 一般エントリーの先走者の中から抽選で200人に大分県特産品(5000円相当) 3. 宿泊パックに申し込んだ先走者の中から抽選で100人に大分県特産品(5000円相当) 4. 宿泊パックに申し込んだ方全員に、別大ロゴ入りオリジナルマスク

モデルコース

本大会コースの一部でもある別府湾岸道路(別大国道の別府市浜脇港一丁目生石港間)約7%の歩道

主催

別府大分毎日マラソン大会実行委員会(リモートマラソン事務局) 九州陸上競技協会、大分県・県教委、別府市・市教委、大分市・市教委、毎日新聞社、RKB毎日放送、OBS大分放送